

総務分科会 会議記録

- 1 期 日 令和 2 年 10 月 8 日（木）
午前 9 時 32 分 開会
午前 10 時 47 分 閉会
- 2 場 所 第 1 委員会室
- 3 出席委員 委員長 伊藤 仁
副委員長 奥村 忠俊
委員 足田 仁司、石津 一美、
岡本 昭治、木谷 敏勝、
嶋崎 宏之
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 なし
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主幹兼議事係長 佐伯勝巳
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

総務分科会長 伊藤 仁

総 務 分 科 会 次 第

2020年10月8日（木） 9：30～
第1委員会室

1 開会

2 分科会長あいさつ

3 協議事項

(1) 分担案件の審査について

第108号議案 令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第12号）

第133号議案 令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第13号）

(2) 意見・要望のまとめについて

4 その他

5 閉会

午前9時32分開会

○分科会長（伊藤 仁） ただいまから総務分科会を開催いたします。

当分科会には、継続審査となっております108号議案、133号議案を議論していただきます。当分科会としましても、今期最後の委員会となろうかと思えます。この後の協議、どうぞよろしくお願いいたします。

報道陣から写真撮影、録音、録画の申出があり、これを許可いたしておりますので、ご了承願います。

先日、10月1日の分科会で質問事項を洗い出し、本日、その回答文書をお手元のほうに配付しております。本日の分科会では、その資料を基に質疑、討論、表決を行う予定としております。

それでは、これより3、協議事項、（1）分担案件の審査についてに入ります。

まず、第108号議案、令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第12号）を議題といたします。

第108号議案中、当分科会に審査を分担されたのは、所管事項に係る歳入歳出予算補正及び地方債補正についてであります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（伊藤 仁） 質疑を打ち切ります。

暫時休憩をいたします。

午前 9時34分休憩

午前10時27分再開

○分科会長（伊藤 仁） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

第108号議案につきまして、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（伊藤 仁） 討論を打ち切ります。

お諮りします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（伊藤 仁） ご異議なしと認めます。

よって、第108号議案は、原案のとおり可決すべ

きものと決定しました。

次に、第133号議案、令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第13号）を議題といたします。

第133号議案中、当分科会に審査を分担されたのは、所管事項に係る歳入歳出予算補正についてであります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（伊藤 仁） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

足田仁司委員。

○委員（足田 仁司） 今回提案された133号議案は、様々な事業のための財源内訳を組み替えていくというような内容だったと思いますし、そのうちの目玉としてはふるさと納税を活用しているということですが、このふるさと納税等が充当されていく事業としては、当委員会の預かり事項ではありませんけれども、アイティ4階フロアの取得、それから生涯学習サロンの整備事業、それから子育て支援センターの整備事業等に充当されていくと。しかも市長の説明では、これをするによって市民負担はゼロになっているというような表現までついておりました。

私としては、アイティ4階の取得については、さとうの申出を受けて、豊岡市が購入するという公金支出の在り方としては、非常にグレーであると、もしくは相当、黒に近いグレーであるというふうに認識をしておりますし、そのほかの事業をそのフロアに後づけで詰め込んでいくような、そういう手法については到底、賛成はできないと考えておりますので、そういった点からも、今回の補正の提案については反対をする立場であります。各委員のご賛同もよろしくお願いいたします。

○分科会長（伊藤 仁） ほかに討論はありませんか。

嶋崎委員。

○委員（嶋崎 宏之） 今、討論のありました133号議案について、賛成の立場で討論をいたします。

当時の時代背景にもよるんですけれども、駅前再

開発事業のメイン事業としてのこのアイティ豊岡の建設に関しては、当初から過大投資だったのではないかと考えます。特に立体駐車場に関しては、過剰投資の感が否めないと思います。日本全国、各自治体がこぞって官民共同、民活導入等を旗印に、地域活性化に邁進してきておりました。さとうグループは連結決算では年間900億円以上売り上げており、また20億円以上の黒字を計上するような優良企業です。しかし、このアイティ豊岡では、多額の駐車料金負担が経営を圧迫しており、過去18年間で51億円もの累積赤字があり、昨年度も2億6,000万円の赤字を計上しているとのこと。これらのことも、言い換えれば、さとうグループから豊岡市への支援という形であるとも言えるのではないかと思います。また、第三セクターのアイティ都市開発にしましても、豊岡市とさとうがおのおの44%ずつ出資しており、市政推進、市街地活性化のよきパートナーとして永年にわたり尽力していただいていると言えるのではないのでしょうか。そして、アイティ豊岡のさとうグループの経営状況も、全くの黒字にならないと撤退するとは言っておらず、現状の赤字が少しでも減少できれば、現在の体制で引き続き頑張るという意思表示もされている中で、一企業支援であると文句をつけて突っぱねてしまうことは大きな問題であり、今後の豊岡市の市政進展が見通せないほどの大打撃になることを、各議員がそれぞれしっかりと認識し、責任ある態度、行動を取るべきであると考えます。また、新聞社、テレビ局も巻き込む中で、大勢の市民の皆さんをはじめ、商工会議所、商工会、様々な団体からも要望、署名嘆願が数多く提出されております。今こそ市民に開かれた議会、市民に寄り添う議会を日頃から標榜している豊岡市議会の全力を結集すべきときだと考えます。賢明なる議員各位のご賛同、よろしくお願いいたします。

それから、付け加えまして、先ほどの財源関係でして、地方創生交付金、それから合併特例債、有利な財源を活用し、さらに一般会計からも何ぼか出るというふうな話でしたけれども、これに既に昨年か

らかなり増額になってるふるさと納税、これも既に入っておりますけれども、これをやはり活用していくというところで市民負担を、市長の言によると、市民負担ゼロということと言われておりますけれども、僕は非常にこの辺につきましても、もっともなやり方であるというふうに思っておりますので、賛成。

以上の点を踏まえて、賛成討論いたします。

○分科会長(伊藤 仁) ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長(伊藤 仁) 討論を打ち切ります。

賛成、反対の意見がありますので、挙手により採決をいたします。

この際、申し上げておきます。挙手しない議員は反対とみなします。

本案は、原案のとおり可決すべきことに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○分科会長(伊藤 仁) ありがとうございます。

賛成委員が3人、反対の委員が3人であります。可否同数となりました。

委員会条例第15条の規定により、委員長が裁決します。私、委員長としましては、さとうと豊岡市の合意案を尊重し、さとうが今後ともしっかりと運営されることを望み、賛成といたします。よって、第133号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。繰り返します。委員長裁定により可決とします。

これより3、協議事項、(2)意見・要望のまとめについてに入ります。予算決算委員会に報告すべき内容について協議いただきたいと思います。

暫時休憩をいたします。

午前10時35分休憩

午前10時45分再開

○分科会長(伊藤 仁) 会議を再開いたします。

当委員会としまして意見等があればお願いをいたします。

木谷委員。

○委員（木谷 敏勝） 事業推進に当たっては、あらゆる有利な財源、全ての財源を有効に使って事業を進められたい。また、こういう流れの速い世の中になってきて、突発的な事業あるいは出来事が起こるかもしれないので、当局におかれましては、その都度、何があったか、早急な報告と相談をかけ、事のあれに当たっては議会と一緒に頑張って推進に取り組んでいきたい。こんな感じで。（「ええです」と呼ぶ者あり）

○分科会長（伊藤 仁） ありがとうございます。
予算決算委員会での意見につきましては、今、木谷委員さんが言われたようにまとめていきたいと思いますが、内容につきましては正副分科会長にご一任願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（伊藤 仁） ご異議なしと認め、そのように決定しました。
これより4、その他に入ります。
その他、委員の皆さんから何かあればお願いをいたします。
〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（伊藤 仁） 特になければ、分科会を終了いたします。
以上をもちまして総務分科会を閉会いたします。
お疲れさまでした。

午前10時47分閉会
